

リカちゃん®人形の修理例（両腕がとれた）

2020.2.13
生駒の田中

1. 特徴



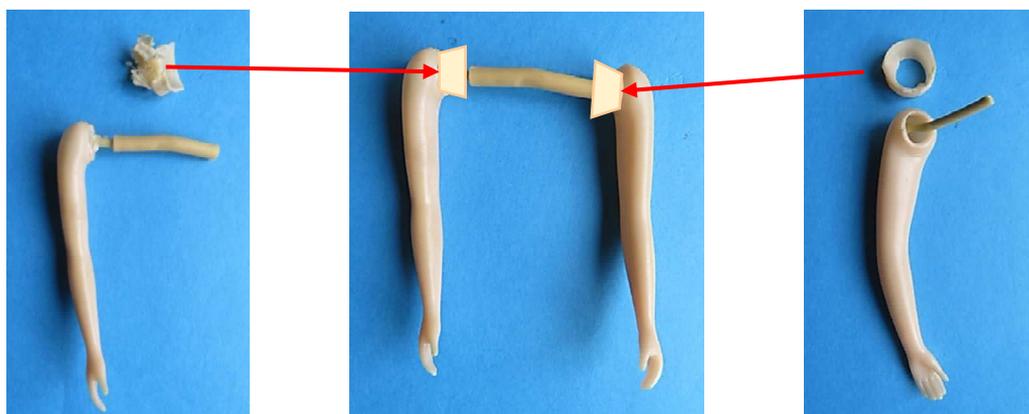
- リカちゃん人形は、タカラトミー（旧タカラ）が発売している着せ替え人形で、家族や友人などのいろいろなバリエーションで販売されています。
- 着せ替えを楽しむため首や手足は胴体とつながっているところが関節のように可動になっています。

2. 外観・故障内容

- これまでも首や足が胴体から取れてしまい持って来られたことがあり、それぞれの修理例が既に掲載されていますが、今回は両腕が取れた衝撃的な姿のリカちゃんの修理です。



- 胴体の中に肩の関節にあたる樹脂の部品が残っていました。これは下図のように肩の穴よりも先の方が太くなっていて肩から抜けられないような形状で腕の方に付いていたようです。
- 両腕の肩から出た太い針金は胴体の中でチューブでつながれていましたが、片方の針金はチューブに接着されておらず、腕は肩の部分で回転し上下に動くようになっていました。



「元の組立て形状（想像図）」

3. 修理の方法

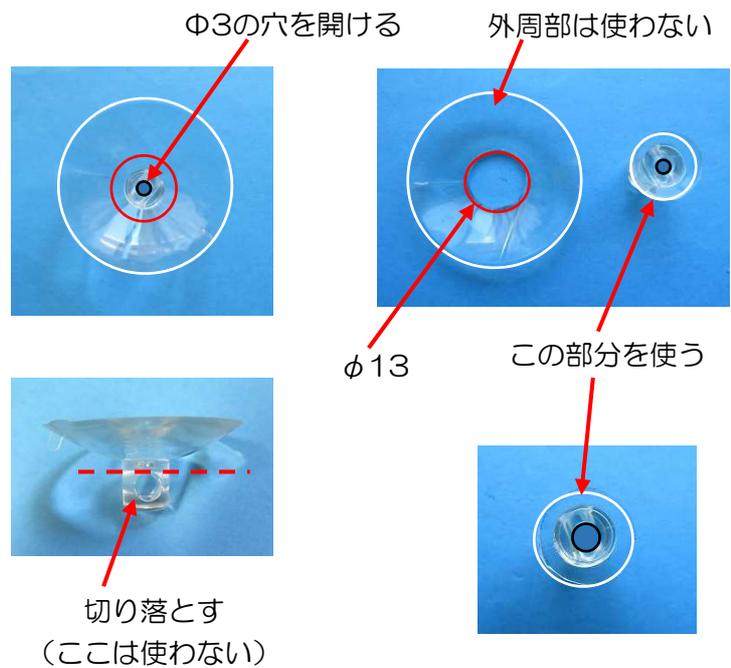
3-1. 関節部品を作る

- 今回は百円ショップで売られている写真の吸盤を使って関節に相当する部品を作りました。
- この吸盤を図のように加工し、その中心部を使い同じ物を2個作ります。



「小径の吸盤（4個入り）」

「吸盤の加工方法」



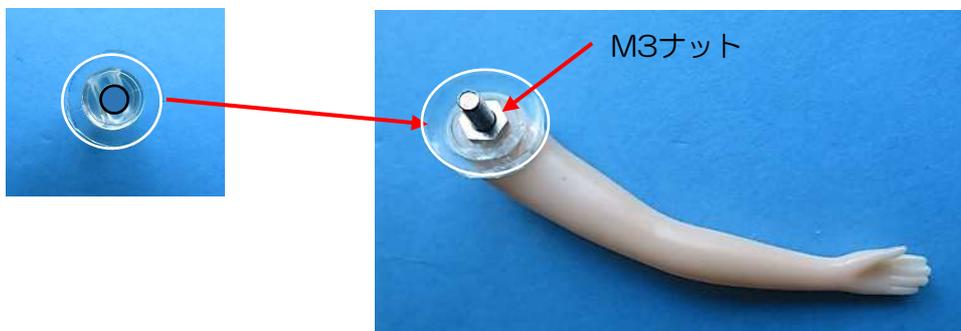
3-2. 肩の部分を作る

- 腕の中に入っていた針金を取り出し（使わない）代わりにM3ネジ長さ15mmを中に入れてグルーで周囲を埋めて抜けないように固めます。
- このとき先にグルーを穴の中に少し入れてからネジ頭を押し付けるようにし、ネジが傾かないように周りにグルーを詰めるように入れていきます。



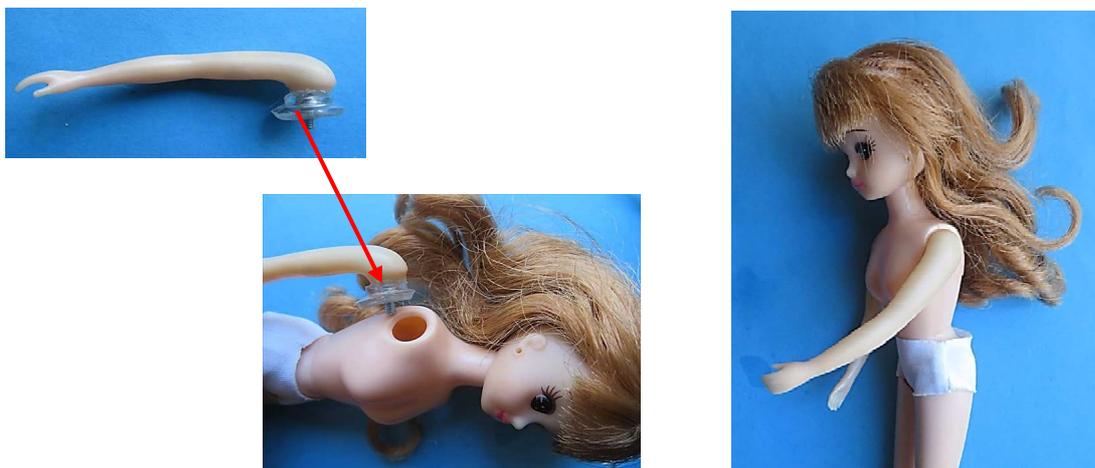
3-3. 関節部を取り付ける

- 吸盤で作った関節部品を肩のM3ネジに入れてM3のナットで固定します。
- 後でナットが緩まないようにボンドなどを塗布しておきます。



3-4. 腕を取り付ける

- 吸盤で作った関節部分を肩の穴に押し入れます。



4. 完成

- 両腕を取り付けたら完成です。

